

## 「第2期 行政改革大綱(素案)」に関する提出意見及び意見に対する県の考え方

### 1 意見募集期間

令和元年5月20日（月曜日）～ 令和元年6月18日（火曜日）

### 2 意見募集の結果

(1) 意見件数 101件（58人）

(2) 意見内容の内訳

区分	件数
1 取組分野1 働き方改革に関する意見	7件
2 取組分野2 組織・人事改革に関する意見	5件
3 取組分野3 財政改革に関する意見	7件
4 取組分野4 ICT利活用改革に関する意見	5件
5 取組分野5 情報発信改革に関する意見	34件
6 第2期 行政改革大綱（素案）全体等に関する意見	43件
合計	101件

(3) 意見の反映状況

区分	件数
A 第2期 行政改革大綱に反映した意見	9件
B 第2期 行政改革大綱（素案）に既に反映している意見（賛成意見も含む）	24件
C 今後の取組の参考とする意見（既に取り組んでいる意見も含む）	12件
D その他（感想、質問等）	56件
合計	101件

### 3 「第2期 行政改革大綱（素案）」に関する提出意見及び意見に対する県の考え方

#### 【意見内容区分】

- 1 取組分野1 働き方改革に関する意見
- 2 取組方針2 組織・人事改革に関する意見
- 3 取組方針3 財政改革に関する意見
- 4 取組方針4 ICT利活用改革に関する意見
- 5 取組方針5 情報発信改革に関する意見
- 6 取組方針6 第2期 行政改革大綱（素案）全体等に関する意見

#### 【意見反映区分】

- A 第2期 行政改革大綱に反映した意見
- B 第2期 行政改革大綱（素案）に既に反映している意見（賛成意見も含む）
- C 今後の取組の参考とする意見（既に取り組んでいる意見も含む）
- D その他（感想、質問等）

意見No	意見内容区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
1	1	2 前大綱の成果と課題の(2)課題に「職員の意識や組織風土に改善はみられましたが、変えたほうが良い風土について、「業務が多忙で余裕がない」「内部調整業務が多い」と思う職員の割合が高止まりしていることや全体の業務時間が削減されていない状況から、業務の廃止・見直しや、それを後押しする体制づくりが課題」とあるが、3 基本的考え方に業務の廃止・見直しに向けた具体的な取り組みが掲げられていない。SDGs、笑いがあふれるような職場環境といった黒岩県知事が掲げる取り組みではなく、RPAを活用した業務の廃止・見直しの取り組みを柱とすべきではないか。	B	「3 基本的考え方」では、課題解決に向けた考え方を整理し、具体的な取組は取組分野に記載しています。 「業務の廃止・見直しや、それを後押しする体制づくり」に対する具体的な取組として、取組分野1「働き方改革」及びアクションプランの「働き方改革取組方針」に「業務改善の推進」を記載し、取組分野4「ICT利活用改革」及びアクションプランの「かながわICT・データ利活用推進計画」にRPAなどを積極的に活用した「新たなICTによる業務の効率化」を記載し取り組んでいきます。
2	1	現状、職員の半数近くが、業務が多忙で時間がなく、業務が改善されておらず、「何を言っても変わらない」と感じている。職員の意識について、働き方改革やICT利活用改革によってどの程度改善されるのかの目標があったほうが良い。	B	職員の意識については、アクションプランの「働き方改革取組方針」において、数値目標を定め、改善に向けた取組を進めていきます。
3	1	朝夕ミーティング等を通して職員の意識の向上を図っているが、意識が高くなったとしても、組織に職員の意見が反映されると限らないのではと感じる。意見を反映させる為の取組が必要だと思う。	B	所属長が職員からの意見や提案を受け止め、議論し積極的に業務改善を進めるなど、職場でのコミュニケーションを活性化させ、職員の意見を反映させる取組を進めていきます。
4	1	働き方改革から、休み方改革へ。	B	アクションプランの「働き方改革取組方針」において、「年次休暇の平均取得日数」に関しても、数値目標として定めています。また、基本取組のひとつとして、年次休暇の積極的取得を掲げ、職員一人ひとりが前月までに「家庭の日」を設定し、スケジュールに明示するなど、休みやすい環境を整えていきます。
5	1	労働時間は短縮されていても、仕事は減らない。	B	本県においても、長時間労働は是正されつつありますが、業務の廃止・見直しや、それを後押しする体制づくりが課題となっています。そのため、取組分野1「働き方改革」において、業務改善の取組を進めるなど、業務量削減の取組を進めていきます。
6	1	働き方改革の詳細を明確に。例えば、仕事時間の短縮ではなく、どのような対策をして短縮するかなど。	B	働き方改革の詳細については、アクションプランの「働き方改革取組方針」に記載し、取り組んでいきます。

意見No	意見内容区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
7	1	県の建物にふさわしい机、イス等を考えて入れてほしい。あまりに安っぽいオフィス風では残念だと感じた。	D	本県では、働き方改革の一環として、レイアウト変更など、働き方に合わせたオフィスに見直す「オフィス改革」を実施していきます。
8	2	職員の間人関係をよくすることが必要。辛そうな職員がいる。平穏・隆盛・健康・安心安全が、県庁に入りますように。	B	アクションプラン「第2期 組織・人事改革戦略」では、「めざすべき組織像」として、「職員間のコミュニケーションを活性化させ、職員一人ひとりがいきいきと働き、笑いがあふれるような働きやすい職場環境が整備された組織」を掲げています。
9	2	職員が育児のしやすい環境をつくる必要がある	B	アクションプラン「第2期 組織・人事改革戦略」では、すべての職員が能力を最大限発揮し、笑いがあふれるような職場環境を整備するため、長時間労働の是正等のワーク・ライフ・バランスの実現や多様で柔軟な働き方を推進するよう位置づけています。
10	2	女性職員が働きやすい状況にますますなるように願っている。	B	
11	2	災害が多いので、災害の際に、現場で業務を行う職員の配置をきちんとしてほしい。	C	県では、災害発生時に誰がどこの拠点に行き、どのような業務を行うかなどを詳細に定めた「配備編成計画」を整備し、円滑な災害応急対策活動の実施を図っています。
12	2	行政に関わる職員は、日本人に限ったほうが良い。外国人優先的な事業には納得がいかない。	D	本県では、公権力の行使又は公の意思の形成への参画に関わる業務には、外国人の方は任用できないという公務員の基本原則を踏まえつつ、できるだけ多くの職種について採用の途を開くこととしています。
13	3	概ね、方向性は良いのだが、県の経営に関して、実は重要なのは、県本体ではなく、その外にあるように思う。債務の観点から言えば、企業庁や教育庁、住宅公社の方が大きいのではなだろうか。幸い水道局はそこそこ優秀なのだが、そちらにおける経営の方が、本体に及ぼす影響が大きいように思える。そちらの経営がないがしろになれば、全体としてうまくいかなくなる。	B	本大綱は、企業庁や教育局も対象としています。企業庁や教育局なども含めた、「県」として、しっかりと行政改革に努めていきます。

意見No	意見内容区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
14	3	ある程度、プロの経営が行われるように、また自治体としてのあり方つまりミッションを無視した利益重視経営を排除しつつ、県民全体の福祉につながるより効率化した賢い経営がなされるべき。	B	本県財政は、今後、急速な高齢化などに伴い介護・医療・児童関係費が増加するとともに、老朽化した公共施設の維持修繕コストにも多額の費用が見込まれることから、厳しい状況が続くと想定されます。 こうした中、県民福祉を向上させ、政策課題に着実に対応していくため、中長期的な視点から、持続可能な財政基盤の確立を図っていきます。
15	3	県の財政についての理解を深めるため、県としての財政バランスシートを公開したほうが良い。	B	本県では、これまでも、毎年度、バランスシート等の財務書類を作成・公表してきました。そして、平成29年度決算からは、総務省が示す統一的な基準に基づいてバランスシート等の財務書類を作成・公表しています。 本大綱においても「取組分野5 情報発信改革」の中に地方公会計制度による貸借対照表の公表を位置付けて、引き続き取り組むこととしています。
16	3	公共施設の維持に必要なコストをどうやって準備するのか気になる。	B	施設の長寿命化、統合や廃止による最適配置の推進や、各施設の特性を勘案した民間資金・ノウハウの活用により財政負担を軽減・平準化し、必要なコストを準備できるよう工夫します。
17	3	景気が良いうちに、道路、水道などのインフラ更新に力を入れてほしい。50年くらい先を見据えたほうが良いと思う。	B	保守点検や大規模修繕等の予防保全措置を的確に行うことにより、施設の長寿命化対策を進めています。
18	3	大阪のように、税対策、天下りの廃止をしてほしい。	C	ご意見については、今後、税制について検討する際の参考とさせていただきます。 なお、本県は、平成18年度から神奈川県退職者キャリアバンクを整備するなど、適正な退職管理に取り組んでおり、いわゆる「天下り」は行っておりません。
19	3	ふるさと納税を活用し、財源が増えるよう、もっと頑張ってください。	C	本県では、社会貢献の視点から寄附を募っており、今年度、寄附者の共感を得やすく、その思いを反映できる福祉分野など、新たに4つの事業（児童相談所などで使用するスポーツ用具等の購入、パラスポーツ用具の購入、県立学校のグラウンドや中庭の一部芝生化、福祉施設等でのオーケストラの鑑賞機会の提供）を寄附の対象に拡充しました。 今後も多くの方に共感いただけるような事業を寄附の選択肢として増やし、寄附の一層の拡充につなげてまいります。
20	4	ICT利用の強化（チャットボット、手続きの無人化、オートメーション化）を進めたほうがよい。	B	〈取組分野4：ICT利活用改革〉で、RPAやAIなど最新のICTを活用して、庁内業務効率化に取り組むこととしています。
21	4	AIを導入することに伴う課題もある。	C	AIの導入にあたっては、対象業務の特徴を把握するとともに、導入に伴って発生する課題は活用を検討する中で解決に取り組み、業務の効率化につなげてまいります。

意見No	意見内容区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
22	4	民間企業と合同で行っていた、R P Aなど I C Tについての実証実験結果について書いてもらえると、I C Tを導入することにより、私たち住民がより良いサービスが受けられることが分かると思う。	C	R P Aの実証実験結果については、記者発表しておりますので、県のホームページで御確認ください。 <a href="http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b8k/prs/r1218310.html">http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b8k/prs/r1218310.html</a>
23	4	県で利用されているPCのモニターが小さいと思う。業務効率化のために大型化を検討するのはどうか。	C	職員が業務用に利用するパソコンの仕様に関する御意見については、2画面作業など業務効率化のために外付けディスプレイの配備などを実施しているほか、パソコン設定での拡大率の操作などが可能です。いただいた御意見は働き方改革を支える I C Tの取組の参考とさせていただきます。
24	4	R P AやA Iの導入は、若い人には理解してもらおうことができると思うが、普段利用しない高齢の方からは、財源の無駄と反対されることが予想できる。	D	R P AやA Iの導入は、県民サービスの充実・向上にも配慮し、費用対効果も検証しながら検討を進めてまいります。
25～26	5	I C Tを活用した情報発信（S N S等）を進めたほうがよいと思う。（同一意見1件）	B	アクションプランの「神奈川県広報戦略」に基づき、政策の内容や情報発信対象などを勘案し、多様な広報媒体（S N S等）を連携させた情報発信を引き続き推進してまいります。
27	5	部活動として県のイベントに関わることがあったが、それ以外で関わる機会がなかった。普段生活していて、県庁がもっと身近になるようなイベント等があれば、関わりも増えて、県について知る機会が多くなるのではないかと感じた。	B	県政への県民の信頼を確保するためには、県政に関する情報発信を進めていくことが重要です。例えば、周辺地域のイベント等にあわせて歴史的な建物である県庁本庁舎を公開するなど、県庁を情報発信の拠点として最大限活用していきます。
28	5	行政改革を推進していただき、どんどん情報発信して頂ければ思う。	B	
29	5	県の取組を情報発信し、もっと県民に届けてほしい。	B	アクションプランの「神奈川県広報戦略」に基づき、「県民が知りたい」「県として知らせたい」情報を効果的かつ効率的に伝えるための取組を推進してまいります。
30	5	県が情報発信に前向きなことがよいと思った。	D	

意見No	意見内容区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
31	5	議会の透明化、インターネット上への公開（議員の議決への投票内容を見やすい形で公開してほしい）	C	県議会のホームページにおいて、平成23年第3回定例会より、定例会毎の議案の一覧及び各会派の賛否を公表しております。なお、広報誌「議会かながわ」においても、各会派の賛否を掲載しております。
32	5	県議会の会議の様子などをモニターで見たい。	C	県議会のホームページにおいて、本会議や委員会の様子を生中継と録画配信で閲覧できるようにしております。 また、現在、県庁新庁舎1階にある議会情報プラザにモニターを5台設置し、本会議や委員会の様子を生中継し、閲覧できるようにしております。
33～58	5	庁舎公開は、県の情報発信としてよい取組であると思うので、これからも定期的に行ってほしい。（同一意見25件）	D	今後も周辺イベントに併せて、県庁本庁舎の公開を行い、県の施策を広くアピールしていきます。
59	6	6 アクションプランに「笑いがあふれるような職場環境をつくり、～」とある。これは県知事が選挙テーマに掲げていた「コミュニティ再生で笑いがあふれる100歳時代」を模した設定と考えるが、本当に神奈川県職員が望んでいるものなのか疑問に感じる。必要以上に黒岩県知事を付度していないか。そもそも「笑いがあふれるような職場環境」は職員で共通イメージを持てるものなのか、数値目標は立てられるものなのか、現実からかけ離れたテーマを設定することが「自分事」として捉えられなくなる遠因ではないのか、今一度職員の声を反映したうえで再考も踏まえたアクションプランの設定を願いたい。	A	「笑いがあふれるような職場環境」の共通イメージを持てるようにするため、「参考」として「働きやすく笑いがあふれるような職場環境」とは何かについて記載しました。 また、職員の意見の反映につきましては、毎年度実施している職員意識調査において、意見の把握に努め、本大綱に反映したほか、アクションプランの「働き方改革取組方針」「組織・人事改革戦略」「神奈川県職員健康経営計画」については、策定段階において、職員アンケートを行い、意見を計画に反映しました。
60	6	問題の解決に向けてどのように取り組むのかは分かりやすいが、そもそもの問題の背景が分かりづらいので、背景がわかると良い。	A	これまでの行政改革の取組など、行政改革を取り組む背景について、分かりやすくするため、図表などを入れるなどの修正を行いました。
61～67	6	用語や内容が難しく、理解しづらいところがあった。図表を挟んだり、概要など分かり易い資料を作成するなど工夫したほうがよいと思った。（同一意見6件）	A	用語の注釈や図表などを挿入し、分かりやすくなるよう修正しました。
68	6	県としての役割が分かりづらい。県が行政改革を進めることによって、住民にどのようなメリットがあるのかわかるとよい。	B	本県では、県の総合計画である「かながわグランドデザイン」に沿って、政策を進めています。 本大綱を進めることにより、行政組織の総合力を高め、「かながわグランドデザイン」を着実に推進し、質の高い県民サービスを効果的かつ効率的に提供していきます。

意見No	意見内容 区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
69	6	歴史を大切に、未来に進んでほしい。	B	これまでの取組を踏まえながら、中長期的な視点をもって、行政改革に取り組んでいきます。
70	6	質的向上をするうえで発生するデメリットはなにかが気になった。やはり、そこはAIでカバーできないところが出てくるので、人間の力も必要である。	B	本大綱では、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革のひとつとして、「職員の質」の向上を掲げており、職員一人ひとりが社会的な課題や組織上の問題点を「自分事」として捉え、アグレッシブに行動していく意識と風土を醸成していきます。
71	6	行政改革の全体像がわかりにくい。	B	本大綱の取組の全体像につきましては、5ページに「5 取組分野」として示しております。
72	6	質的向上を進めることで、AIの導入など費用がかかってしまうことや、時間外勤務の大幅削減により、かえって仕事が多忙化するなどのリスクが伴うのではないかと感じた。このようなリスクを踏まえたうえで、段階的に行政改革を進め、慎重に議論していかなければならない。	C	行政改革は社会環境の変化に合わせて、不断の取組と見直しが必要です。「質的向上」に着目した改革を進めるにあたっては、課題を踏まえたうえで、柔軟に取り組んでいきます。
73	6	行政の質的向上を測ることが難しいと思うが、住民の増減などで測ることができるのではないかと考える。	C	進捗状況の点検にあたり、質的向上の成果を定量的に図ることは容易ではありませんが、職員の意識変化や、数値目標を設定しているアクションプランの進捗状況とあわせて評価していきます。 また、評価する際は、いただきました意見を参考に、グランドデザインの進捗状況や社会環境の変化なども参考にしていきます。
74	6	行政改革大綱を、住民の方が手に取る機会が少ないと思うので、手に取りやすくなるよう、工夫が必要。	C	本大綱につきましては、策定後、県HPに掲載するほか、県政情報センターや地域県政情報コーナー、市町村の情報提供窓口で閲覧できるようにしていきます。 また、いただきましたご意見を参考に、さらなる工夫について検討していきます。

意見No	意見内容区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
75	6	総べてに関して、スリム化を希望する。	C	本県では、平成9年度から数値目標を設定し、「量的削減」を中心に行政改革の取組を進め、平成27年度当初までに、かなりのレベルまでスリム化が進みました。 平成27年度以降「質的向上」に着目した改革を進めていますが、「量的削減」の視点をなくしたわけではなく、民間活力やICTなどを活用することにより、効率的な運営を図っていきます。
76～78	6	行政改革の取組が、「量的削減」から「質的向上」にシフトしていることがわかった。(同一意見2件)	D	
79	6	「量的削減」中心の行政改革から、「質的向上」に着目した改革というものは、対局関係であると感じた。	D	
80	6	量的削減された行政の中で、質的向上は本当に可能なのか疑問である。	D	本県では、これまでに実施してきた量的削減の取組により、かなりスリムな執行体制となっておりますが、新たな課題や県民ニーズに対して、スピード感をもった的確に対応しなければなりません。 そこで、質の高い県民サービスを提供していくため、本大綱により、「質的向上」に着目した改革を進めていきます。
81	6	行政改革を量的削減から質的向上へ転換していくなかで、少ない人数でより良い行政サービスを行う難しさを改めて知ることができた。	D	
82	6	行政の業務を削減するためには、AIなどICTの導入が必要不可欠と考えていたが、素案を読み、そのベースが職員(人)であり、職員の質の向上の方が大切ではないかと考えるようになった。	D	本大綱では、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革のひとつとして、「職員の質」の向上を掲げ、改革に取り組んでいきます。
83～87	6	行政改革について詳しく書いてあり、県が積極的に行政改革に取り組んでいることが分かった。今後も改革に進んでいただきたいと思う。(同一意見4件)	D	本大綱に基づき、今後も行政改革に取り組んでいきます。

意見No	意見内容 区分	意見要旨	反映区分	県の考え方
88	6	市町村の財政一本化が必要。	D	ご意見ありがとうございます。 いただきましたご意見につきましては、本大綱に直接的に関係するものではありませんが、担当部局と共有します。
89	6	転入出のたびにゴミ捨て場が荒れて困るため、ごみの捨て方を自治体ごとに変えず、県や国で一律にしてほしい。	D	
90～93	6	人通りの多い道にガードレールをつけたり、道に花を植えたりし、安全で治安のよい街になるよう取り組んでほしい。（同一意見3件）	D	
94	6	中学校給食を実現して欲しい。	D	
95	6	外国人の就労が増えてきたので、外国人にとっても優しい町づくりや福祉の充実をしてほしい。	D	
96	6	高齢者向け低料金の県営住宅を増やしてほしい。	D	
97	6	特にバス代が高いので、田舎に住んでいる学生への交通費の補助をしてほしい。	D	
98	6	出産できる病院を増やしてほしい。	D	
99	6	巨大な震災リスクを軽減するようリスクを減らす投資を国を利用して活発化する必要がある。	D	
100	6	歩行者天国マグカル開放区は、ライブがみられて良いと思う。	D	
101	6	商業主義に走って騒々しい感じになったり、キャラクターを作ったりするのはやめてほしいと思う。	D	県政が目指す姿の実現に向け、様々な関係者の理解と協力を得るための多様な広報手法の1つとして「キャラクター」の活用に取り組んでまいります。